

J A全農杯チビリンピック 2013
小学生 8 人制サッカー大会 in 関東
開催要項

- ① 名 称 J A全農杯チビリンピック 2013 小学生 8 人制サッカー in 関東
- ② 主 催 日刊スポーツ新聞社
- ③ 主 管 社団法人山梨県サッカー協会・第 4 種委員会
- ④ 特別協賛 全国農業協同組合連合会（J A全農）
- ⑤ 協 賛 ユナイテッド・フォトプレス・（株）モルテン
- ⑥ 後 援 社団法人山梨県サッカー協会・昭和町
- ⑦ 期 日 平成 25 年 3 月 23 日（土）～24 日（日）
- ⑧ 会 場 押原公園天然芝 G・人工芝 G（山梨県昭和町）
- ⑨ 参加チーム 各都県サッカー協会より推薦された 16 チーム（各都県 2 チーム）
- ⑩ 開催日程
- 監督者会議 午前 9 時 15 分（押原公園 2 階会議室）
- 開会式 午前 10 時
- 競技開始 午前 11 時
- 競技終了 午後 4 時
- 3 月 24 日（日）決勝トーナメント
- 競技開始 午前 9 時
- 三位決定戦 午後 1 時 10 分 決 勝 午後 2 時
- 閉会式 午後 3 時
- ⑪ 表 彰 優勝・準優勝・第 3 位・第 4 位…
- 賞状・メダル・トロフィー・特別賞（J A全農）
- フレンドリーの部トーナメント
- 第 1 位・第 2 位
- 賞状・トロフィー
- ※全チームに J A全農と日刊スポーツより参加賞贈呈
- ※優勝及び準優勝チームは「J A全農杯チビリンピック 2013 小学生 8 人制サッカー全国決勝大会」の出場権を得る。
- ⑫ 参加資格
- ・ 2012 年度（公財）日本サッカー協会第 4 種又は女子加盟チームであること。準加盟チームも含む。
 - ・ 各都県第 4 種委員会から推薦されたチーム（16 チーム）
 - ・ 出場選手は 2013 年 3 月現在、5 年生以下のこと。
 - ・ 登録選手証を持参すること。
 - ・ 2013 年 5 月 4 日、5 日に行われる「J A全農杯チビリンピック

ク2013小学生8人制サッカー全国決勝大会」に参加可能なチームとする。

- ⑬ チーム構成
 - ・チーム構成は引率指導者3名以内、大会登録人数は20名、試合登録人数は16名とする。
 - ・参加選手は健康であり、且つ保護者の同意を得る。また、参加チームは傷害保険（スポーツ安全傷害保険等）に必ず加入していること。
- ⑭ 試合方法
 - ・予選は4チームを4パートに分け、リーグ戦を行い、各パートの1位及び2位の8チームが決勝トーナメントへ進出する。
 - ・3位～4位の8チームはフレンドリーマッチを実施。
 - ・予選リーグの順位決定は、勝点3、引き分け1、負0とし、勝点の多いチームを上位とする。勝点と同じ場合は、得失点差、総得点、当該チームの対戦結果、抽選の順により決定する。
- ⑮ 組み合わせ 関東委員長会議にて、組み合わせ抽選を実施。
2日目の組み合わせについては、組み合わせ表による。
- ⑯ 大会参加費 ￥10,000
- ⑰ 競技規定

（公財）日本サッカー協会8人制サッカー競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会用として大会規定を定める。

- ・プレー時間：36分（12分の3ピリオド）
- ・インターバル：第1、第2ピリオド間は、選手総入れ替えに要する時間のみ。
第2、第3ピリオド間は、5分以内とする。
- ・サイドの決定：第3ピリオドのサイドは、コイントスで決定し、6分が経過したところでサイドをチェンジする。
- ・試合の勝者を決定する方法（36分で勝敗が決しない場合）
 - 予選リーグ：引き分け
 - 決勝トーナメント：同点の場合、出場中の3選手によるPK方式
 - 決勝戦：3分ハーフの延長戦を行う。決しない場合は
出場中の3選手によるPK方式により決定する。
- ・全試合、開始30分前にメンバー表を提出する。
- ・ベンチに入れる人数
 - 指導者3名以内
 - 大会登録選手……20名以内（ベンチ入り選手はピブス着用）
 - 試合に出場しない選手全員……出場者とは異なる色のピブスを着用
- ・競技の人数：常に8人（内1人はゴールキーパーとする。）

- ・交代について

第1、第2ピリオドは選手を総入れ替えする。第3ピリオドのみ交代自由とする。ただし、同一選手の出場は最大で2ピリオドまでとし、3ピリオド全てに出場することは不可とする。

延長戦については、前後半で同一選手の出場を可とする。また交代は自由とする。

- ・交代手続きについて

第3ピリオドは自由な交代を適用する。(一度退いた競技者も再び出場でき、何回でも交代可能とする。但し、交代の手続きはサッカー競技規則第3条に則る)

- ・テクニカルエリア：設置しない。

- ・審判：審判は1人制とする。補助審判を1名指名し、記録・交代管理・計時を行う。

- ・反則と不正行為

警告・退場：競技規則に準ずる。大会期間中、警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。尚、委員会メンバーは関東各都県委員長とする。

退場補充：当該チームは、交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。

退場処分：ベンチ（指導者）が判定に対し異議を唱えたり、選手に対する罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合、主審の判断により退席処分とする。それ以降はベンチからのコーチングを不可とする。

- ・アディショナルタイム：アディショナルタイムの表示は実施しない。

- ・負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される指導者は2名。

- ・ユニフォームは正・副2着を用意すること。

(ユニフォームとは上着・パンツ・ソックスを意味し、色違いであること。)

- ・ベンチサイドは、組み合わせ表の番号の小さいチームがピッチに向かって左側とする。

- ・シューズは固定式ポイントとし、レガース（すね当て）を着用のこと。

- ・ボールは「少年用4号球」を使用する。(主管県で用意する。)

- ・ピッチサイズは68m×50mとする。試合会場の大きさによって修正してもよい。

- ペナルティーエリア：ゴールライン上ゴールポスト外側に 12m。
その地点からゴールラインに直角に 12m。
- ペナルティーマーク：8m
- ペナルティーアーク：半径 7m
- ゴールエリア：ゴールライン上ゴールポスト側に 4m。
その地点からゴールラインに直角に 4m。
- センターサークル：7m
- コーナーアーク：半径 1m。
- ゴールの大きさ：幅 5m×高さ 2.15m（少年用ゴールを推奨）
- ・フリーキック：相手競技者は、ボールから 7m以上離れる。
- ・コーナーキック：ボールがインプレーになるまで、相手競技者はコーナーアークから 7m以上離れる。
- ・キックオフからの直接のゴールイン(キックオフゴール)は得点とは認めず、相手のゴールキックで再開する。

●大会規定付記●

<ルールの基本的な考え方>

- ・選手のフェアプレー精神を養う。
- ・審判員を信頼し、判定に対し不平不満を表さない。
- ・指導者や保護者、応援する大人など、大人のフェアプレー精神も養う。

<審判員の運営上の留意点>

- ・良く動き、良い位置取りを心がけ、説得力のある判定を目指す。
- ・オフサイド判定については、主審の見解で明確な場合のみ罰し、原則的には「疑わしきは罰せず」の考え方をとる。
- ・フェアプレー精神、良いマナーを養う目的から、判定に対してや、他人に対しての言動にも注意を払い、指導していく。（審判はフェアプレー、リスペクト溢れるプレーに対して、グリーンカードを積極的に示しましょう。）